

~その人らしく生きるために~ Humaneness



社会医療法人 関愛会 在宅リハビリテーション通信 2017年

【春号 vol.6】



“家族”に寄り添う訪問リハビリテーション



今年もたくさんの表彰状をお渡ししました!

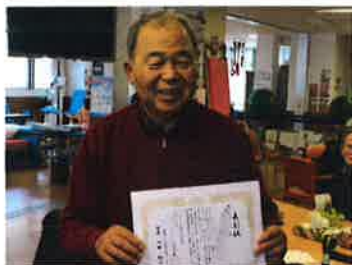
季節を感じる外出プログラム!



理学療法士が“介護予防教室”へ出向く!

集団体操を考え、DVDを作成!

1年間の表彰式を開催！



もみの木では、毎年、年度末にご利用者様に向けた表彰式を開催しています。「皆勤賞」、「精勤賞」、「生き生きチャレンジ賞」、「セラピスト賞」など、1年間の成果の結果を表彰致します。

おいくつになられても、人から褒められるということは、うれしいことでもあります。人は褒められると、「ドーパミン」といわれる脳内物質が分泌されるといわれています。この物質は精神を安定させ、気分を高め、さらに意欲的になる効能があります。

そのようなことから、もみの木では、サービスの中に、ご利用者様自身が意欲的に「活動」できる様々な仕掛けを取り入れるようにしています。



季節を感じる春の外出プログラム



もみの木では、季節を感じるプログラムに取り組んでいます。春といえば桜ですね。

通所リハビリの目的として、「桜を見に行く」ことが主ではなく、冬場に蓄えてきた身体機能の確認の場であったり、チャレンジする場所として考えています。

車椅子からの脱却！

今回も、この桜を見に行くというきっかけから、様々な変化が見られました！



奥様の車いすを介助できた!(^^)!

普段の起立練習の成果！

通所リハビリテーション こうざきもみの木便り 第6報

発行日 : 2017年5月1日
 編集・発行: こうざきデイケア・リハビリ
 テーションセンターもみの木
 広報担当 山之上・戸山
 電話番号 : 097-576-1212
 FAX番号 : 097-576-1182
 E-mail: mominoki_reha@yahoo.co.jp

レッドコードで劇的な変化！

バイブレーションなどの振動刺激は筋肉の緊張を和らげる効果があります。レッドコードとバイブレーションによる振動刺激を併用することで、日頃からストレスが掛かっている腰や下肢の筋緊張が更に和らぎ、痛みの軽減が図られます。痛みが軽減された状態で、体幹や下肢の運動を実施することにより、姿勢や動作の改善が**短時間・短期間**で認められた方が数名いました。今回、その方々の中から1事例を紹介します。

2月頃からご自宅で転倒が増えたK様。集中的に個別リハビリを実施するために、もみの木のご利用を**週2回から週3回に増やした**上で、レッドコードとバイブレーションを用いた個別リハビリを開始しました。その結果、以前の生活状況では、歩行車を使用して歩いていましたが、腰痛や膝痛が軽減し、体幹や下肢の筋力が向上したことで、姿勢の改善が認められました。ご本人様から「歩行時の足取りが軽くなった」との発言も聞かれ、今ではT字杖歩行となりました。今度行われる「お孫様の結婚式にもT字杖で参加する」と意欲も高まっています！



その後、下肢の運動を行っている場面です。

レッドコードとバイブレーションの振動にて筋緊張を落とされています。

レッドコード対応前(2月)
 TUG 33.0秒(T字杖)
 5m歩行 11.9秒(T字杖)

レッドコード対応後(4月)
 TUG 17.1秒(独歩)
 5m歩行 6.2秒(独歩)



姿勢写真



短期間で

移動方法の改善！
 歩行スピードの改善！
 姿勢の改善！！



姿勢写真



T字杖で花見に行く事が出来ました(^v)

オリジナルDVDでの集団体操

体を動かすレクリエーションは、日常生活で身体を動かす機会の減った方にとって大切な時間です。日中、適度に体を動かす事で、食欲が出たり、夜の睡眠がスムーズになったりするなど生活リズムを整える効果も期待できます。今回、作成した集団レクリエーションの体操のDVDは、身体を適度に動かすことで身体機能の維持や向上を図ること、音楽に合わせて運動することで脳を活性化させること、集団で行うことでコミュニケーションを活性化させることを目的として、5人のセラピストそれぞれが担当するご利用者様の状態を話し合い運動動作を考案作成致しました。第1弾「タオル体操」曲は関の鯛釣り踊り、第2弾「棒体操」曲は北島三郎の祭、第3弾「チューブ体操」曲は川の流れるようにです。体操が始まるとご利用者の皆様もテレビの方に体を向けて、音楽に合わせて、自然と体も動き楽しく体操に取り組まれています。



タオル体操



棒体操



チューブ体操

新人職員紹介



新入社員の宗大輔（ソウダイスケ）です。出身は津久見です。趣味はサッカー、フットサル、ゴルフ、ボウリング等々体を動かすことが大好きです。大分方面の土地勘がありませんが、ご利用される皆様がどのような環境で生活されているのかを知り、経験を積んで、質の高いリハビリを行えるよう目指していきます。締めないで頑張ります。



「和田ゆかり」です。40代にて一念発起し、2年間勉強し介護の資格を取り、昨年11月から介護福祉士として採用されました。ご利用者の皆様一人一人と真剣に向き合うことでその方に必要な支援は何かと考えながら日々、成長していきたいと思えます。よろしくお願致します。

編集後記

桜が散るとすぐに藤の花が咲き始め、日々山々の景色を眺め四季移ろいを送迎車の中から感じています。毎日の気温差も大きく体調を崩される方が多い時期になりますが、皆様体調管理には十分お気をつけてお過ごしください。



坂ノ市もみの木通信

No. 006

発行日：平成29年5月1日
編集&発行：坂ノ市リハビリテーションセンター
ターもみの木 広報委員会（釘宮・西田）
TEL：097-578-6835
FAX：097-578-6836
E-mail：sakanoichi_mominoki@yahoo.co.jp

生活目標達成に至るまでの42.195*。

坂ノ市もみの木では、中重度の方でも生活目標を持ち、活動・参加(役割)を意識して、生活の質の向上を目指し、支援していくことを心がけています。定期的に外出プログラムを計画し、運動の成果や季節感を体感して頂き、精神活動の賦活を図っています。

生活目標に変化が見られたご利用者様の一例を紹介します!!平成28年12月に坂ノ市病院を退院し、もみの木のご利用が開始となったご利用者様です。退院直後は歩行時のふらつきが認められていました。もともと頑固な性格もあり、度々もみの木を休まれていました。まず、もみの木を休まずに通うにはどうすればよいかを考えていた所、**若い頃は42.195kmのフルマラソンに出場したことがある**という話をお聞きする事が出来ました。マラソンの話になると、とても嬉しそうに今まで見せたことのない笑顔で話をしてくださいました。「目が見えれば走るんやけど…」と今でも走りたい気持ちを持っていた為、**走る**ことへのアプローチを開始しました!!「少し走ってみましょう」と初めてもみの木のホール内でジョギングを促してみると、その時は走らずに歩いているのみでした。

そこで、「**外出プログラムのお花見に参加し、ゼッケンをつけて走る**」ことを目標に掲げ、歩行練習を開始しました。ゼッケンはホールでの取り組みとして、他のご利用者様に作成をして頂きました。互助の関わりを経て、実際に外出プログラムに参加して桜の下でジョギングを行うことができました。アプローチを始めてからはもみの木を休まずに通う事もできています。

「温泉に行きたい」という言葉も最近聞かれています。新たな目標に向けてもチャレンジしていきます!!



～もみの木表彰式～

平成28年度もみの木表彰式を4月初旬に行いました。28年3月から29年2月までの期間を対象として6部門の表彰式を行いました。
・俳句賞(1名)・精勤賞(7名)・皆勤賞(10名)・パワーリハビリ賞(1位～3位までを表彰)・セラピスト賞(5名)・生き生きチャレンジ賞(延べ18名)の方が受賞されました。表彰式を行い、ご利用者様の日頃頑張っている姿を他のご利用者様に発

表する事で「私も頑張らんといいけん」、「今年絶対に休まん」等の意欲的な発言を聞くことができました。ご利用者様全体に良い相乗効果を得ることができ、今後のモチベーションアップに繋がったのではないのでしょうか。



職員紹介コーナー



- ①小さい頃の夢は?
A:サッカー選手
- ②好きな食べ物?
A:ラーメン
- ③好きなスポーツは?
A:サッカー・フリス
- ④一番大切にしている事は?
A:一途一心
- ⑤仕事への意気込み
A:ご利用者様に「最高の1日」と言ってもらえるように努めています。
- ⑥今後の目標
A:ダイエット

編集後記

新年度が始まり、お陰様で坂ノ市もみの木も4月で2周年を迎えることができました。私自身も坂ノ市もみの木に入社し、一年以上が経ちました。入社直後は、業務内容を覚えることに精一杯になり、職員・ご利用者様にご迷惑をかけてしまうことが多々あったことを思い出します。まだまだ未熟で職員・ご利用者様にご迷惑をかけることがあると思いますが、初心を忘れず、業務に取り組みたいと思っております。本年度も宜しくお願いします。(西田)

今年は開花が遅く、入学式を満開の桜の木の下で迎えた方も多かったのではないのでしょうか。緊張とワクワクの新年度がスタートしました！



発効日:2017年5月1日

編集・発行:こうざきクリニック

訪問リハビリテーション事業所

広報担当:川江・板井

電話番号:097-576-1212

FAX 番号:097-576-1808

E-mail:kouzakihoumon@yahoo.co.jp

約2年ぶりに仏壇参りが出来ました！！



現在、施設入所されているご利用者様です。この方は2年前まで歩行器を使って自宅で一人暮らしをされており、その際も訪問リハビリを利用されていました。しかし、病気の進行によって徐々にご自分で身体を動かすことが困難になり、現在はリクライニング車いすを使用されています。訪問した際にいつも「家に帰りたい」とのご希望が聞かれていました。

そこで今回、担当ケアマネージャーさんと理学療法士の提案によって約2年ぶりに一時帰宅を試みる事になりました。ご自宅が急勾配の坂の上であり、リクライニング式車いすでは上がる事が出来ない為、普通型車いすに乗りかえて自宅まで上がりました。担当ケアマネージャーの事業所のスタッフも大勢手伝いに来てくれました。自宅前にはご兄弟やご近所の方が笑顔で帰って来られるのを待たれており、約2年ぶりにご自宅へ帰り仏壇の前で手を合わせると自然と涙が…。

このように訪問リハビリではその方の身体状態の評価や環境設定、福祉用具の選定などを行い、

その方の「**やりたい気持ち**」を全力でサポートします。

このような最高の瞬間に出会えることが、我々にとって一番のやりがいです！

ご兄弟、近所の方との再会の瞬間



庭に咲く花を見て昔を思い出します



弟さんと仏壇の前で



編集後記

ある日の事、スタッフがAさんと起立練習をしていた時のお話です。居室から近日開店するお寿司屋さんの看板が見えていました。お店が開店して数日、夕方4時頃に駐車場には多くの車が…。スタッフが「こんな時間にお寿司を食べてますよ。夕飯にしては時間が早いですね。」と何気なく話すと「その方達は消化が良いのでしょうか。」とAさんは真面目に且つユーモアある返答をしてくれたそうです。何気ない会話から笑顔が溢れ、ほっこりした時間だったようです。鯛のお寿司が大好きだけどずいぶん召し上がられていないそうです。

今後はご一緒できるよう、訪問リハビリでサポートしていく予定です。

(編集担当 板井一弘)



坂ノ市病院が「地域包括ケア病棟」に生まれ変わりました！

平成28年8月1日より、入院ベッド数が19床から20床となり、
坂ノ市クリニックから坂ノ市病院へ変わりました！

平成29年4月1日より、「一般病棟」から「地域包括ケア病棟」に転換しました！

地域包括ケア病棟とは？



入院期間は**60日**が目安
リハビリは**平均2単位**以上

『地域包括ケア病棟』とは、急性期の治療後、回復に不安のある患者さんを受け入れ、安心して自宅や施設で暮らせるまでの橋渡しを行います。また自宅で介護を受けている人が、病気や怪我がこれから悪化しそうなときに早期から入院できます。一時的に入院して患者さんを預かることもできます。



安心して地域に戻れることを目指し、「生活の場」に沿ったリハビリテーションをチームで展開していきます！

もみの木 オフィシャルブログ「もみの木の木の下で」

★もみの木や訪問リハビリでの出来事を情報発信中！

アドレス：http://livedoor.jp/mominoki_reha/

☆facebookページもあります☆



QRコード



リハビリ もみの木